

施設だより愛の園

第30号
2021/12

ぶどうの枝の使命

はっきり言っておく。わたしの兄弟である
この最も小さい者の一人にしたのは、
わたしにしてくれたことなのである。

(マタイ二十五章四〇節)

社会福祉法人 ぶどうの枝福祉社会

愛の園 統括園長 信川恒夫



ぶどうは、世界中
で一番多くとれる果
実で、有史以前から
人々に利用にされて
きました。イスラエ
ルの人たちも、古く
からぶどうを食用や
ワインとして食して

きました。しかし、預言者エゼキエルは、ぶどうの木に
譬えられたイスラエルに対して、きびしい戒めを与えて
います。「人の子よ、ぶどうの木、森の木のうちにあるぶ
どうの枝は、ほかの木になんのまさる所があるか。その
木は何かを造るために用いられるか」(エゼキエル十五:
二二)。つる木であるぶどうの枝は、木材としては何の
利用されることもない、何の価値もないと預言者は言
います。

それにもかかわらず、イエス様はそのぶどうの木と
枝を、自分とイエス様を信する者との関係として譬え
られています。ぶどうの枝は瘤(こぶ)だらけで、自立
して枝を張ることも出来ません。ただ石垣や軒先にま
とわりつくようにして、枝を張っていきます。しかし、
ぶどうの枝全体として成長して、ぶどうの房、一つ一つ
の立派な実を結ぶのです。

◇
イエス様は、「わたしにつながっていないさい」、「わた
しの愛の中にいなさい」、「わたしはあなたがたとつな
がっていないよ」といわれます。ぶどうの枝が実を結ぶの
は、枝自身の力ではありません。ぶどうの木全体が、太
陽の光と雨、大地の恵みを受けて、時が来れば実をなら
せます。

◇
イエス様は、私につながるとは、最も小さい人に仕え
ることだと話されました。「はっきり言っておく。わた
しの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、
わたしにしてくれたことなのである。」と言われたので
す。身近にいる社会的に弱い立場の人たち、一人では生
きていけない人たちに手を差し伸べ、その人と共に生
きる事が、ぶどうの枝が木につながることだとわか
れています。イエス様につながるとは、最も小さい人に
仕えることです。この最も小さい人に仕えることが、私
たち社会福祉法人ぶどうの枝福祉社会に与えられた使命
なのです。